

令和6年度 第2回学校関係者評価委員会 会議録

日 時：令和6年10月31日（木）

場 所：曾於高校多目的室

出会者：曾於高校

学校長 教頭 事務長 四部主任 学科主任 農場長
教務係2名

学校関係者評価委員

曾於市商工会事務局長 武田公洋 様
SKLV 南九州畜産獣医学拠点特任教授 宮本 篤 様

1 学校長より

2 学校評価について(教務部教務係より報告)

学校評価アンケートについて、第1回の提言を受けて一部内容の変更をした。

質問・提言等

提言：(1) アンケートの回収率について

(2) 主体的に生徒に参加させる機会があってもよいのではないか。

(3) アンケートの各項目はもっと詳細にとってもよいのではないか、

3 各部より（四部主任より報告）

質問・提言等

(1) 市とのコラボレーションを図る場合は、3年ではなく1・2年生がしたほうがよいのではないか。

(2) 保健部のアンケートについて、メンタルヘルスチェックをしてはどうか

(3) 広報活動のありかたについて、曾於高校の特徴を掲げて広報できているのか。

回答：学校便り配布、ブログの更新頻度を高めている。

(4)PR できる実績を作っていく必要があるのではないか。

回答：今後も本校独自の行事を紹介していく。

4 全体をとおしての質疑応答

(1) 高大接続プログラムの積極的活用をしていくと、生徒の将来の展望が開かれるのではないか。

(2) 実習機材を使って市に貢献できるようなものはないのか。

作ったものが地域に貢献できている（＝学校に還元されている）と考えれば、生徒のやる気につながるのではないか。

(3) 学校だよりの発行部数と配布先について知りたい。

回答：発行部数 2500 部，近隣小中学校，生徒出身校，曾於市内回覧板

提言：せっかくいいものが作られているのにもったいない。受験生全員に配布されているのか。

回答：配布されていない。資金面において苦しい部分がある。

提言：学校という公的機関ではあるが，今後は生き残りをかけて自走できる（資金を工面できる）仕組みを作っていく必要があるのではないか。その仕組みが学校の特色となるはずである。

5 その他

『信頼される学校づくりのための委員会』の設置について（提案）

委員会メンバーについては学校関係者評価委員が兼ねることについての了承。

質問・提言

質問：委員会メンバーの男女比は考慮されているのか？

回答：現在のところ考慮されていない。現在は女性 1 名のみ。

提言：難しい現状であると思うが，女性のメンバーを 1 人ではなく，2 人は置いたほうが良い。